



与謝野町

第14号

平成21年11月10日

議会だより



第2回与謝野町駅伝競走大会

主な記事

平成20年度決算認定	2P
台風9号災害	10P
水道料金の値上げ	12P
ここが聞きたい(一般質問)	19P

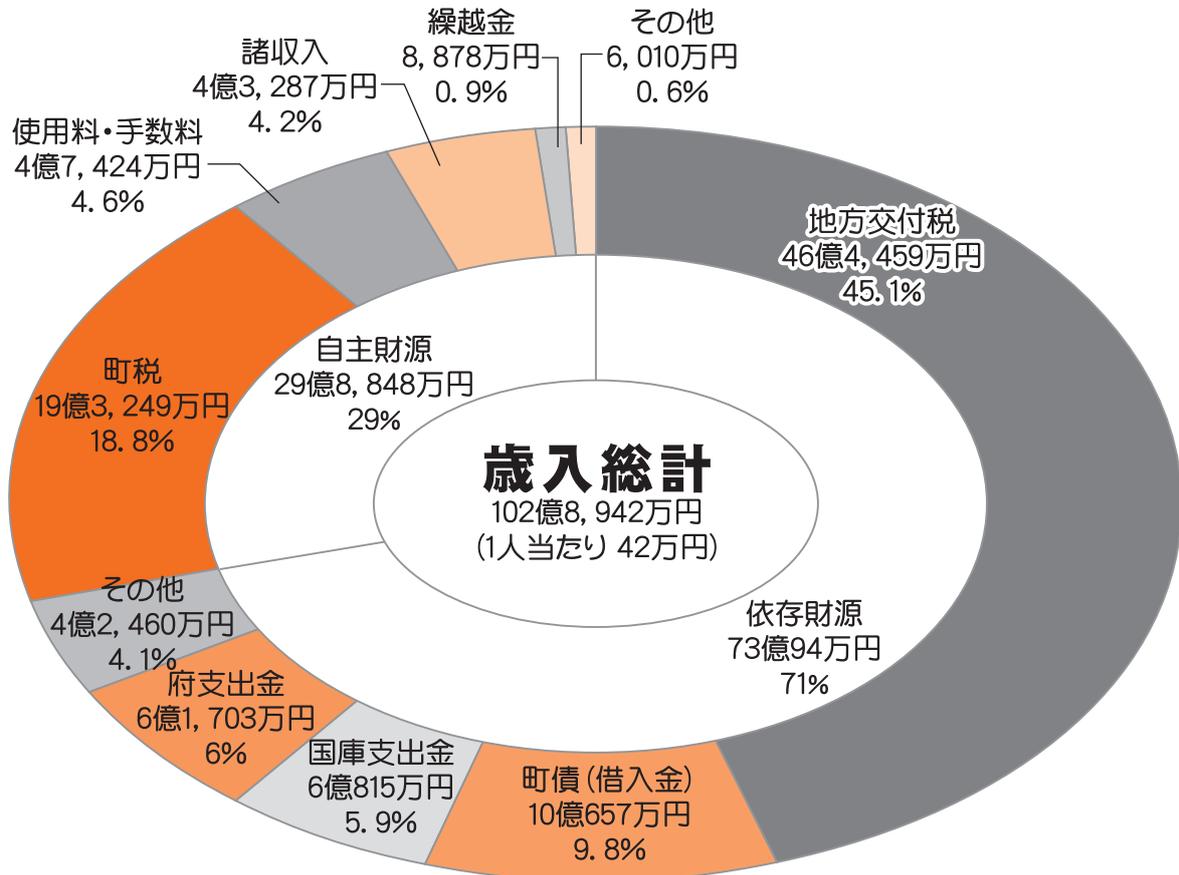
表紙写真を募集します

町内でのイベントの様子や、日々の町の様子など、あなたの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか？

●応募方法 撮影した写真データを電子メールでお送りください。 ●応募先 gikai@town.yosano.lg.jp

耐震化が進む

歳入歳出状況



平成20年度一般会計決算 1億6,522万円の黒字決算

平成20年度一般会計決算の歳入総額は103億5,390万円(対前年度比0.9%減)、歳出総額が100億5,232万円となり、翌年度への繰越財源分1億3,636万円を差し引いた純繰越額(実質収支)は、1億6,522万円の黒字決算となった。

なお実質収支の2分の1(8,261万円)は基金に繰り入れた。

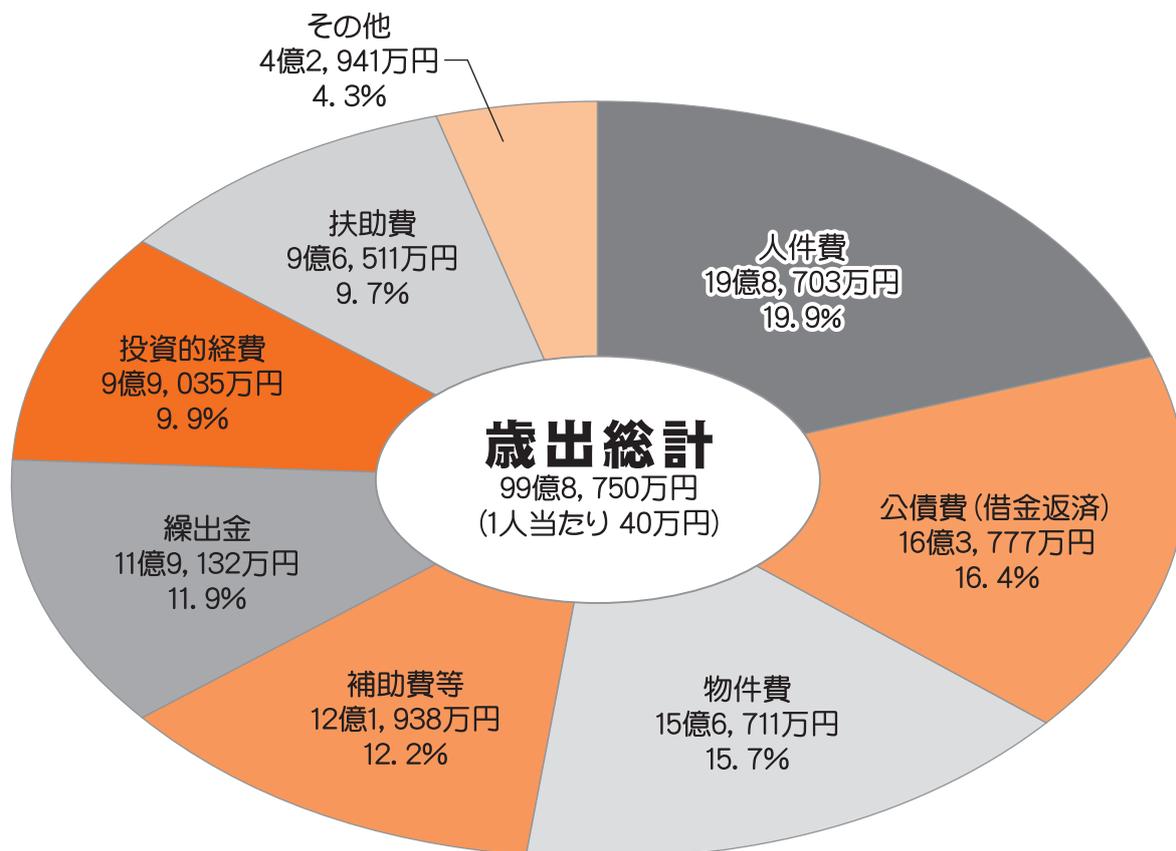
9月議会のように

9月定例会は9月3日から10月9日までの37日間の会期で開催した。平成20年度決算では、5日間にわたって13議案を審議し、原案どおり可決した。また、平成21年度補正予算、給水条例の一部改正など、21議案を審議し原案どおり可決した。9月議会は延べ108人が町政全般について発言し、活発な議会となった。一般質問では、13人が質問に立ち台風9号を受けての安心、安全の問題から将来のまちづくりまで、理事者の見解を求めた。

平成20年度 決算認定

小学校の

普通会計



平成20年度財政状況 (財政健全化判断比率等)

- ◎ 財政力指数 (3カ年平均) 0.362 地方公共団体の財政力を示すもの。
- ◎ 実質公債費比率 (3カ年平均) 16.7% 支出総額の中の返済金の割合 (基準 25.0%)
- ◎ 実質赤字比率 該当なし 普通会計の赤字の程度を示すもの (基準 14.1%)
- ◎ 連結実質赤字比率 該当なし すべての会計(全体)の赤字の程度を示すもの(基準 19.1%)
- ◎ 将来負担比率 103.3% 借入金や将来支払う可能性のある負債等の割合。(基準 350.0%)
- ◎ 経常収支比率 94.8% 財政の弾力性を示すもの。(75.0%が望ましい)

借入金・基金の現在高

◎ 借入金 (地方債残高)

一般会計借入金	129億4,448万円	町民1人当たり借金
特別会計借入金	176億2,933万円	123万円

◎ 預金 (基金残高)

積立金	27億6,939万円	町民1人当たり預金
運用基金	4億5,413万円	11万円

一般会計決算



地方財政どう措置

勢旗 毅

問 三位一体改革の名のもとで、地方財政は大きく圧縮されてきたが、地方の疲弊が激しく地方財政計画でも一定の高上げがされたいと思うが。

企画財政課長 地方交付税も約1億5千万円増え、一応措置されたと考えている。

不法投棄防止は住民協力で解決を

畠山 伸枝

問 峠への不法投棄、集積場所への投棄があつたが、行政の力だけでは解決しない。住民とともに取り組む必要があるのではないか。

教育長 終わったということだが、給食センターでの対応ができるのならば、待つ必要はないのでは。負担の問題も含め、検討をする。

教育・保育提言書

服部 博和

問 8つの保育所は存続。小中学校は明確な答えでず。中学校は12年後227人減少し、生徒に意欲や活気が無くなる恐れ。加悦中は未だ耐震工事未着手、統廃合を選挙の公約にするべきだ。

教育長 給食センターが存在していることを基本的に考慮する。

文化財「むち」を救え

町長 財政との絡みがある。まだ結論は出ていない。

教育長 放置はしていない、気にはしている。有効活用がしたい。何かアイデアを。

橋立中の給食を急げ

問 保護者から要望が強い。できなければ、スク

橋立中学校給食を早く

宮津市は学校再編が

住民環境課長 まちづくりに欠かせない重要なこと。押し付けにならないように、自発的な形でできればよいと思う。

男女共同参画は

町長 よくはなつたが、意思決定の場に女性が少ないのは残念。



給食センター

どうする増加する滞納

小林 庸夫

問 平成17年度決算における未収入金を100とした場合、平成20年度決算では122となつている。

(17年度比8621万円(増加) 職員減、経費減に努力しても歳入分が入金しないことにはどうにもならない。

町長 生活が厳しいなかで徴収率が上がらないことに苦慮している。個々の対応、地道に取り組むが住民の協力を仰ぐのみ。
副町長 徴収強化についても開いている。

問 個々の方々の事情を勘案され、こまめに尋ねて徴収努力をしてほしい。
町長 当事者はいろいろな事情を抱えてあられるので、各課連携し適切な指導をしていきたい。

第三セクターの監査

問 それぞれの組織・会社には監査役があられるが、町の出資比率の高い団体は定期的な監査必要ではないか。リフレの件もあり見解を問う。

代表監査委員 地方自治法によると指定管理者の監査もすることになっている。が数が多く、ピックアップして行っている。各団体には監査役があるので、町から支出された分が他の目的に使用されていないかを中心に監査している。

製造業育成に力点を

問 商工関連決算額、内訳は商工会と利子補給で77%をしめている。元気のある街は製造業が頑張っている町と聞く。
商工観光課長 疲弊したなかで模索中。産業策定委員会等で検討加えたい。



望まれる早期改修

行革だけでなく、住民参画意識を

伊藤 幸男

問 行革による庁舎統合論議がでているが、大事なことは住民参画と自治意識の高揚では。
町長 そう考えている。

うつ 鬱などのケア相談を
問 雇用情勢と社会保障の悪化で、サラ金被害が急増。この中で多重債務相談の実施は評価できる。様々な不安から精神的に苦しむ方々が増え、自殺者まで出ている。うつな

ど心のケアの相談窓口があるのでは。
住民環境課長 府レベルの協力が必要であり、町独自では難しい課題だ。

就学援助の現状は？
問 家計が苦しい児童への就学援助は宮津市で2割もあるが、低所得の本町ではわずか13%だ。実態に接近すべきでは。
教育長 申請されたものは、極力認めている。

岩屋峠改修

有吉 正

問 宮津市・豊岡市・与謝野町で促進協議会(会長・太田町長)をつくり、毎年、総会を開き、京都府へも陳情に出向いている。幅杭を打ってから10数年休止している。事務レベルでは推進する考えがあるとも聞く。町道若屋川線をより活かさなければならぬ。地元議員としてできる努力をしていく。町長として一層の努力を。

町長 府道宮津・養父線の交通量も増えていると聞いている。狭い箇所を拡幅、危険箇所の整備と併せて、幅杭ごりの改修に努力する。

府の財政も厳しいと聞く。国の補助枠が必要。政権が交替し、前原衆院議員も国交大臣になられた。議員もお力添えを。

地域公共交通

問 ひまわり号はノンストップバスで、運転手の介助で車椅子での乗車もできる。民間の路線バスも、バスの7割をノンストップバスに替えられ、連絡しておけば、ノンストップバスを配車して、車椅子での乗車も可能と聞いている。

これからは地域公共交通がより重要となる。ひまわり号だけでなく、ひろく地域公共交通を町民に広報すべき。
企画財政課長 現在担当がその方向で企画中。



地域バス

電気料金の割引可能か

浪江 郁雄

問 当初予算の質疑で街路灯の電気料金の一括払いによる割引を検討すると答弁があったが検討されたか。

建設課長 関西電力では割引制度はない。

電算改修費は適正か
問 電算システムの改修費の推移は。

企画財政課長

ホームページの活用は
問 アクセス件数は35万2千件で意見投稿は121件。HPは情報を即座に発信できる特異性がある。今後の活用は。

企画財政課長

CATVの地域情報との

企画財政課長

理想的であるが、難しい。



活用が望まれる若者センター

連携を考えている。

17年度	6900万円
18年度	6400万円
19年度	8400万円
20年度	7600万円
21年度	5700万円

問 改修費が適正か、庁舎内でエックでできる体制が必要だと思うが。

行革は新しい町に変える取り組みに

野村 生八

問 地域経済を再生する「中小企業振興条例」や、業者や働く人の暮らしを守る「公契約条例」の制定。住民参加と住民への分権を進める地域協議会など新しい町づくりの仕組み作りこそ、行政改革として取り組むべきだ。

町長 総合計画とマニフエストの実施など、新しい町づくりへの取り組みは積極的に進める。

財政厳しいとき 遊休資産の活用を

井田 義之

問 町有財産活用委員会の現況は。

副町長 百余の遊休資産がある。有効活用・現状維持・先送りの3段階に分けて整理している。

有効活用のランクが9件あり、内1件は売却済。旧村からの財産で目的不明の物件もあるが急務の課題だ。

活きた産業振興を

家城 功

問 産業振興も、いろいろ取り組まれているが、将来に繋がる分野にも支援が必要では。

商工観光課長 従来の支援に加え、新たに公的機関以外の研修や講習会にも支援できるようになった。

問 公的機関以外でも有効なものも多くある。活きた産業振興が必要。

商工観光課長 さらに検討していきたい。

問 PRについては。 **商工観光課長** 商工会との連携により強化したい。

設置意義の理解が必要

問 幼稚園や保育所にもAEDが設置され、安心安全のまちづくりに向け一歩前進した。講習会で

は使い方は当然のこと、緊急時での対応の仕方やAEDの必要性等、設置意義を理解していただくのに非常に有効である。一人でも多くの方に受講していただき正しい理解と認識の推進を。

町長 そのようにする。

若者センター有効活用
問 年間約100万円の維持管理費が使われているが現在の利用状況は。

教育推進課長 この施設は若者定住化を目的とした施設で、京都国体の事務局に使用していた。現在は若者がバンド練習に時々使用されている。

問 設置目的に沿った若者に対して有効活用を。

教育推進課長 そうしたい。

税収が落ち込んだ

その原因は

谷口 忠弘

問 景気や雇用対策が十分なものだったのか。

町長 厳しい状況の中で事業を限定し行った。

商工観光課長 振興策にいろんなメニューを用意したが、活用面では、特に新たなビジネスへの取り組みが少ない状況。

継続的な雇用確保を

問 福祉施設は不足し又新たな雇用が可能だが。

町長 やる気のある方があれば応援したい。

街路樹・花の管理は

できているのか

糸井 満雄

問 国道176号線沿いに植栽されている「町のシンボル椿」、また町道山手線沿いの旧岩滝町の花「あじさい」の管理が

全くできていないのでは。**総務課長** 旧町時代に植栽された「椿・あじさい」など管理はできていないので今後十分検討したい。

問 旧町時代に守り育てたものが、置き去りにさ

れているのではないか。良いものは残し、守り育てる心・施策が大切と思うが。

町長 木や花を愛し、町のシンボルであったものを残すということは、地域を愛する人たちの心の問題だと思う。そのため

に何が必要か検討したい。また、身近な環境美化についても町民の皆様の協力をお願いしたい。

問 国のフクチン承認で若い女性の検診希望者が急増と聞か内容は。**保健課長** 海外98カ国で承認され、日本でも10代、20代の若い女性の臨床試験の結果、予防効果が確認されたが、厚労省のラインにそって情報収集に努める。

子宮けい癌の検診は

上山 光正

補助金の内容と効果は

問 ヘルメット購入補助金の内容とその効果は。**教育推進課長** 小中学校

の児童、生徒の入学記念事業。自転車の点検で得た要整備項目から危険防止の指導を受けている。



もっと町木の手入れを

総合庁舎方式にいつ変わるのか

今田 博文



本庁舎

問 職員数減る中モチベーションがキープできる環境があるか。**町長** 職員は一生懸命頑張っている。

問 リフレかやの里は休止になり3月には新たな指定管理者の募集、6月には議会提案があった。この間の総括は。

町長 手続きを踏んできたつもりでいる。考え方は間違っていないが、今後十分に協議しながら進めたい。

問 今後の進め方は。**町長** もう一度色々な角度から意見を聞き検討したい。

問 今後の進め方は。**町長** もう一度色々な角度から意見を聞き検討したい。

問 行革は完遂できるのか。**町長** 20年度は総合計画、行政改革大綱がスタートした年になる。**企画財政課長** 20億円の削減と経常収支比率を90%以下にすることを目標値は高いが、避けては通れない。

一般会計賛成討論

計画基盤づくりの着実な前進を評価

家城功

平成20年度は、100年に一度といわれる世界的経済危機が叫ばれ、原油価格の高騰や輸出産業の急激な落ち込み等、この地域でも一層の冷え込みが増した年であった。当町では、合併3年目を迎え、第1次総合計画や行政改革大綱がまとめられ、更なる一体感の醸成、また安心安全のまちづくりに向けてのスタートができた年であった。予算執行も町民の暮らしや健康を守る施策が実施され、経常収支比率も94・8%とわずかではあるが改善されており、着実な前進と評価できる。

公約を本格実施した決算

畠山 伸枝

国が社会保障や中小企業予算を削減する中、厳しい財政運営であった。そのような中、町営バス『ひまわり号』運行、どこでも安心プラン事業の推進、地デジ対策として有線テレビを全町に広げる事業、多重債務の相談事業などを行って

きた。合併後3年半を経過した今、個性と特色ある旧3町の良さを生かしたまちづくりが求められる。貧困と格差が広がる中、社会的弱者への対策や地域経済の対策などを関係団体と協議しながら、取り組んで頂くことを期待したい。

特別会計決算

特別会計決算

(単位：万円)

会計別	収入	支出
簡易水道	10億9,324	10億8,075
下水道	22億891	22億862
農業集落排水	1億7,279	1億7,278
国民健康保険	事業勘定	29億1,301
	直診勘定	8,737
老人保健	3億2,031	2億9,092
介護保険	事業勘定	20億9,956
	サービス勘定	1,331
財産区	888	888
宅地造成	1,065	1億4,612
土地取得	140	107
石田土地区画	0	0

公営企業（水道事業）会計決算

(単位：万円)

収益的収支	営業収益	1億4,648
	事業費用	1億7,373
資本的収支	資本的収入	1,105
	資本的支出	9,403



走るひまわり号

介護保険

保険料・欠損分は町民の負担増に

井田 義之

問 介護保険料は2年間で不納欠損処理される。20年度117万円。毎年100万円以上だ。
この保険料だけは欠損分を他の納入者が負担しなければならない。
滞納処置条例を制定されている自治体もある。

町の裁量で、どうしても払えない人は免除し、他の方は必ず徴収するシステムづくりが急務だ。
町長 国の定めであり、上位の条例との関連もあるが、調査し、何等かの方法がないか研究する。

介護の実態からも激励金の存続を

勢旗 毅

問 介護激励金が廃止になった。在宅介護の実態を見ていないのでは。

は差がある。18年度から介護保険の給付費に入ったことで一定整理した。

福祉課長 施設と在宅に

年金天引きの税控除の不公平なくせ

伊藤 幸男

問 介護保険料などの年金天引きで、税控除の不公平が生じているが。

福祉課長 国に是正を求めていきたい。

国民健康保険

無料・低額診療事業の利用

富山 伸枝

問 生活が苦しい人に医療を保障する制度だが、ほとんど知られていない。生活全体の相談のなかで担当課と連携して、有効

に利用してほしいが。
保健課長 保険制度で、できることはやっているが、他の課とも連携してやりたい。

滞納は厳しい経済事情を反映は

伊藤 幸男

問 全国では国保税滞納は2割を超え、医療機関でも未収金が増。実態

をつかんでいるか。
保健課長 つかんでない。

離職者に国保税の減免は

勢旗 毅

問 雇用情勢が厳しく、離職された人等への国保税の減免制度は。

保健課長 特別減免の措置で、21年度では現在13名58万円を減免している。

後期高齢者医療

後期高齢者医療制度はただちに廃止

野村 生八

問 高齢者に重い負担と差別医療を押し付ける世界に例を見ない仕組みであり、国民の怒りが爆発した。来年4月からは、保険料が大幅に上る。一刻も早く廃止すべきだ。

1年目の運営の実態は。
保健課長 システム改修費は、多額の費用を町が負担した。実施後も軽減策など制度が次々に変わり、事務も大変だった。



なくそう滞納

一般会計補正予算 第4号

8月9～10日 豪雨災害 専決処分 9000万円



台風9号のつめあと

有線テレビで災害情報を

今田博文

問 有線TVを活用して台風や雨量など災害情報を流すことはできないか。

企画財政課長

検討したい。

問 台風9号による町の

災害対応の苦情をたくさん聞いている。住民対応などはできているのか。

総務課長

色々な問題点があるので、「まちづく

り本部会」で検討したい。

台風による河川災害

勢旗 毅

問 台風23号で大変な被害を受け、災害関連工事で復旧したところが今回台風9号でも被災した。府の事業だが工法に問題があるのでは。

建設課長

野田川の上流

部で復旧したところが被害を受けた。環境に配慮した工法に問題があるのか、府で検討願っている。

「簡易土のう」配布を

浪江 郁雄

問 加悦奥川は大雨により度々氾濫する。改修には時間が必要だが、部分的な補修はできないか。

問 保管も容易で高齢の方でも扱いやすい「簡易土のう」が庁舎に備蓄し

と協議する。

てある。毎回浸水する家庭に配布できないか。

総務課長

一般家庭への配布は難しい。

問 公民館などへの配布は可能か。

総務課長

自治会への配布は検討する。



災害に備えよう

豪雨による被害箇所

多田正成

要、整備していきたい。

問 例えば三河内奥山川の改修整備をされたが、道路を横切る水路、暗渠が旧態、その断面箇所から水があふれ家屋に浸水被害、水路の分岐が必要。
建設課長 水量分析し水路の分岐も含め最良の方法を考える必要がある。

問 奥山川の源流に常に砂の流れる谷合いがあり、砂防堰堤の要望が旧町時代から出ているが。
農林課長 府への要望の一つに入っていると思うが全町数10力所あり、なかなかできない。

問 豪雨の度に被害が出る。同様の箇所も含め改善、改修を早期に。
建設課長 加悦奥も同じ様な箇所があり改善が必要。

問 土砂の浚渫費もかかる。元を絶つことが必要。
農林課長 順次、府へ強くお願いをしていく。



大型土のうで応急処置



土のうを積んで災害対策

二度目は人災 二重投資はさげたい

井田 義之

問 災害復旧工事は現状復帰が原則。しかし今回23号台風の時と同じ個所の災害が数カ所と聞く。復旧工事を一歩進め、町独自で次の災害対策も

含めた工法が必須と思うが。
町長 気持は理解できるが、国や府と同様、現状復旧のみを優先したい。

災害対応は 最優先ではないか

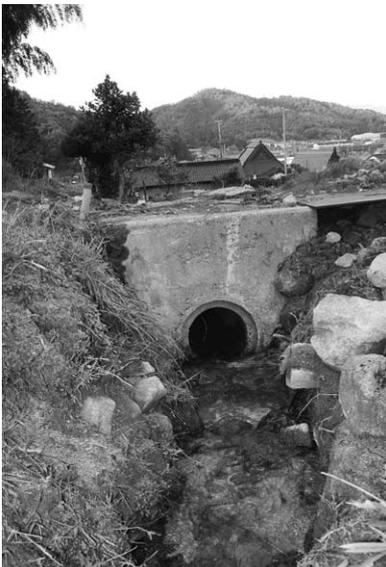
伊藤 幸男

問 この間、行革で区の改修要望が進んでないが、災害対応は最優先ではないか。
企画財政課長 災害対応まで削減していない。

異常気象に 耐えられる奥山川に

野村 生八

問 先の大雨で、三河内奥山川が溢れた。ソブ川改修のなかで、奥山川も含めた水利解析に基づいた改修計画があったはずだ。そのソブ川支線の改修など、異常気象による増水にも耐えられるよう、改修の検討が必要では。
町長 確かに計画があった。その内容も含めて、もう一度検討したい。



水路の拡大を

給水条例の改正

賛成
反対
退席

1 2 人
2 2 人
3 3 人

水道料金の町内統一

料金改定の根拠を示せ

糸井満雄

問 上下水道審議会の答申に基づき基本料金1500円の改定となつてい
るが、上水道健全化のため
の適正料金の根拠が明
白でない。持続可能な安
心・安全な水を安定供給
すべき適正料金の根拠は、
水道課長 水道事業の経
営の健全化及び安定化を
図るため、改定するもの
である。適正料金は日本
水道協会が示す1900
円であるが、現在の経済
状況下で地域住民の皆様
に大きな負担はかけられ
ないので、簡易水道と同
じ1500円にした。

1戸当たりの値上げ額
問 1戸当たりの値上げ
額は幾らになるのか。

水道課長 一般家庭の水
の平均使用量は25トンで
あり、約4500円の値上
げとなる。

住民に十分な説明を

上山光正

問 条例の改正は、関係
住民に十分な説明と周知
徹底がされていない。
特に料金改定について
住民は聞く権利がある。

水道課長 21年度に値上
げのところ、区長などか
ら意見書が提出され、1
年先送りとし22年度から
の値上げとなる。

引上だけでなく低所得者対策も

野村生八

問 町民の厳しい生活状
況を考えると、来年4月
からの実施ではなく2年
後、3年後からの実施に

すべきだ。来年実施であ
れば、基本料金の量を10
m³から5m³に引き下げる
などの、低所得者対策を

実施すべきだ。
町長 基本料金について
は、なかなか実現は困難
だと思つが、検討する。



男山浄水場

上水道・簡易水道の今後は



一字観公園から望む岩滝

		基本料金	
現在	岩滝上水道	1350円	
	加悦・野田川簡易水道	1500円	
H22年4月から	岩滝上水道	1500円	
	加悦・野田川簡易水道	1500円	

H29年4月から与謝野町水道事業として統合

賛成討論

合併により新町与謝野町が誕生して3年6カ月。旧3町には、それぞれの長所があり、それが当然の生活をしてきた。今は、“ひとつのまち”としてできることから、同じ条件に調整されている。

例えば教育・保育現場も、同じ条件の運営・維

持に努力されている。一つの上水道・13の簡易水道も同じ町のライフラインであり、財産である。今回の水道料に関する条例改正も、その為の重要なひとつと考える。最後に岩滝地域の方々に理解を得る為の努力を強く要請する。

井田 義之

堅実な財政運営で守るライフライン

反対討論

簡易水道は、国の補助基準の見直しで、平成28年までに、上水道に統合されるが、特に、家庭用水を低額に抑える政策的な配慮が必要だ。

単純に給水単価の比較だけで、料金体系の統一を図ることは、公共料金の公平さをも失わせる。従来の基本水量10^mを

5^mに基準数値の引き下げも選択肢の一つ。与謝野町の公平性、住民負担の妥当性、生活階層への配慮も検証すべき。水道料金1500円の改正は、命を守る生活水への影響は更に窮屈となり一段と深刻となる。

命を守る生活水は深刻となる

上山 光正

一般会計補正予算 第5号

10億円の追加補正

主な収入

地域活性化公共投資臨時交付金
3億5800万円
地域情報通信基盤整備推進交付金
1億9700万円

主な支出

有線テレビ拡張事業
6億0044万円
追加



与謝野晶子短歌文学賞授賞式

ゴミ広域事業の

総括をすべきだ

伊藤 幸男

問 丹後ゴミ広域事業の新事業で研究会を立ち上げることが、従来の総括は、

町長 できていない。

一万八千首の応募

勢旗 毅

問 産経新聞社と共催の与謝野晶子短歌文学賞の評価は。

町長 一万八千首を超える応募があり、我が国を代表するような先生が選

者で、与謝野町へ来ていただいで非常に評判が良かった。晶子の故郷大阪の堺市とも別の目的だが交流を深めたい。

有線テレビ拡張事業

多田 正成

問 今回の事業は全町に広がるが、スケールメリットを出しA、B、C、Dプランの使用料が少しでも安くならないか。

企画財政課長 規模が大きくなるから運営費も全て大きくと言う訳ではない。加入率によってはその可能性も。

問 毎月の使用料だけに

是非メリットを。それと大きな取り組みだけにIP電話事業も取り組んで頂きたい。町内での電話料が無料でいける。

企画財政課長 取り組むには多額な設備費がある。当初から民間業者の参入を考えていたが、現在では無いので難しい。



進む有線拡張工事

アライグマなどの駆除は

畠山 伸枝

問 最近、大変増えて被害を受けているが。

農林課長 昨年の捕獲数はアライグマ6頭、ヌートリア15頭。箱フナを50基買った。申し出があればすべてに対応できる。

問 被害の多いアライグマの捕獲数が少ないのは。困っている人にもっと広く知らせて被害を防ぐべきではないか。

農林課長 積極的な広報をしていく。

加悦地域の有線放送サービスが向上

谷口 忠弘

問 今般新たな方式でサービスの充実が図られるが、その多額な財源は。

企画財政課長 国の交付金があり、思ったより早く有利な条件で整備ができた。

問 当町の情報化に向けたハード事業が終わったが、その投資総額と運営に必要な加入率は。

企画財政課長 約24億円で一般会計の持ち出しは約5億円程度、運営経費

が賄える加入率は約50%で、借金返しまで含めると約70%が必要。

問 今回の工事に、地元業者の参入が可能か。

企画財政課長 できるだけその方向で考えている。

問 当町の情報化に向けたハード事業が終わったが、その投資総額と運営に必要な加入率は。

企画財政課長 約24億円で一般会計の持ち出しは約5億円程度、運営経費

が賄える加入率は約50%で、借金返しまで含めると約70%が必要。

梓組み確定が先 可燃ごみ焼却施設

井田 義之

問 焼却場に関する予算225万円が頭出しした。(2市2町平等割で計900万円)。スムーズな進展に期待するが、うち800万円は委託料。一応2市2町の梓組みだが、今後京丹後市は別の可能性のある中で、白紙状況の委託は疑問。

町長 ごみ問題は慎重に進めるのが基本。専門家に委ねることで合意した。



可燃ごみ焼却場(宮津市)



携帯電話基地

賛成討論

政権交代余波を心配

勢旗 毅

この補正は、10億6百万円、主な事業は情報通信基盤整備への補正や、認知症対応の介護施設整備、子育て応援特別事業、雇用対策、京都府の新規「命の里」事業等が網羅されている。

特に、与謝地内での携

帯電話基地局の設置は、欠くことのできない情報ツールとして格差が埋まると喜んでいる。しかし、この財源の多くは国の補正予算であり、政権交代で財源確保に一層の努力を願う必要がある。

「辺地計画」

辺地の総合整備計画を促進するための
財政上の措置

香河辺地に係る総合整備計画の変更

設備投資には

費用対効果を明確に

谷口 忠弘

問 冷凍米飯施設のここ数年の業績はいいが、累積赤字を抱えたまま、新たに空調と焼成機を整備されるが、その効果をしっかりと数字で明示すべ

きだ。

農林課長

具体的に数字は上げにくい、安全性の確保や食材の自社製品化でのコスト削減が必要。

三セクへの支援

基準がいろいろでは

伊藤 幸男

問 冷凍米飯施設などへの支援基準がいろいろある。

農林課長

施設老朽化や

従来の赤字もあるが頑張っている、町としてはできるだけ応援したい。



冷凍米飯施設

飲料給水施設整備は

上山 光正

問 香河辺地の飲料給水施設整備の抜本的な整備を行う内容は、

水道課長

630万円の

事業。残留塩素計を新たに設置、配水池の水位計も設置した。

岩屋西部辺地に係る総合整備計画の変更

飲料水供給施設の改善は

上山 光正

問 岩屋西部辺地の飲料水供給施設の管末や高台で水圧低下、水量不足が生じる点と内容は、

水道課長

500万円の

事業。府道宮津養父線の迂回路が新設、同路線に新たに配水管を布設。

堂谷辺地に係る総合整備計画の変更

既設水道管の変更について

上山 光正

問 堂谷辺地の既設の水道管は小口径であり、布設位置も民地等であることから、水道本管を公道

下に布設する内容は、

水道課長

工事費200

0万円、5年間の事業。

請願 意見書

肝炎対策急務



石川診療所

国への意見書

薬害C型肝炎・ウイルス性肝炎患者の 救済に関する意見書

C型肝炎は感染してから発症までに10年から30年を経過するのに対し、カルテの保存義務は5年のため患者の90%以上は証明が難しく、救済対象から外されかねない状況にある。加えて高い医療費に苦しみ、言われなき社会的差別・偏見を受けるC型肝炎患者は、国の責任において早急な救済を求める。

- 1、カルテがないC型患者も認定すること。
- 1、治療費の補助
- 1、治療体制の整備
- 1、社会的偏見・差別の解消
- 1、薬害再発防止策
- 1、肝炎対策基本法の制定

衆議院議長 横路孝弘様
参議院議長 江田五月様
内閣総理大臣 鳩山由紀夫様
総務大臣 原口一博様
財務大臣 藤井裕久様
厚生労働大臣 長妻昭様

請願

肝炎対策基本法の制定に関する請願書

一、薬害肝炎問題の全面解決
(請願者) 竹島香代子
(審査の経過)

一、潜在患者の早期発見治療に向けた体制の整備
一、患者の医療費負担軽減と治療中の生活支援
紹介議員 廣野安樹議員
より本会議で提案説明の
あと、文教・厚生常任委員
員会に付託された。

(審査の結果)

国は平成20年から5年間の実施期間で対策をしているが、今の対策では不備がある。認定される人の基準を改正する必要がある。国の責任は免れない。よって全員賛成で「採択すべきもの」と決定した。



医療の充実(与謝の海病院)

産業・建設常任委員会の視察報告



倉吉市役所

産業振興策と町づくりを学ぶ

視察日

平成21年7月2・3日

視察先

鳥取県倉吉市

目的

産業元気条例

町づくり大賞の打吹地区の視察

倉吉市は、昭和40年代、京都から移転した企業が

現在トップ企業に成長している。産業元気条例は

条例で産業の活性化を狙

いとし、市長に目標設定

を義務づけており、金融

機関も加えた「産・官・学

金」と振興方策の組み立

てになっている。

「遙かな街この出逢い」をテーマにストーリーのある街づくりがされており文化財の視点から脱却次をめざしていることを感じた。

視察先

鳥取県智頭町

目的

日本1/0運動

林業の厳しい中での町づくり

平成9年度にスタートした「ゼロぶんのイチ運動」は、「ごうせ住おなら豊かな村に」の理念で鳥取県で開催の若とり団体の後の事業として、全国評価を受けるまでに発展、現在では地区協議会として活動している。

基幹産業の林業は非常に

に厳しいが、智頭農林高

校、林業試験場とのタイ

アップで熱の入れ方が違

うと感じた。

議会の動き

3月30日	議会広報特別委員会	6月2～	6月定例会
4月3日	議会広報特別委員会	26日	
6日	議会広報特別委員会	7月	
7日	小学校入学式 総務常任委員会	2・3日	産業・建設常任委員会行政視察
8日	中学校入学式	16日	宮津市・与謝郡市町議会議長会
9日	議会広報特別委員会 京都府立加悦谷高等学校入学式	17日	広報特別委員会
13日	議会広報特別委員会	22日	総務常任委員会
14日	産業・建設常任委員会	24日	広報特別委員会
15日	議会広報特別委員会	27日	与謝野町地域情報通信基盤整備工事 広報特別委員会
16日	文教・厚生常任委員会	30日	京都府町村議会議員研修会
5月14日	総務常任委員会	8月11日	8月臨時会
14・15日	文教・厚生常任委員会行政視察		平成21年第3回議長会議
19・20日	全国町村議会議長会主催「第34回 町村議会議長・副議長研修会」	25日	議会運営委員会
19日	平成21年度第2回議長会議	26日	与謝野町宮津市中学校組合臨時議会 宮津与謝消防組合臨時議会
25日	5月臨時会	27日	市町村議会広報研修会
27・28日	総務常任委員会行政視察	9月3日～	9月定例会
		10月9日	

[質問議員と内容]

災害、防災時の対策、対応を問う 多田 正成	与謝郡の呼称を上級庁へ 勢旗 毅
集中豪雨等による水害対策 家城 功	規制緩和で保育所はどうなる 畠山 伸枝
リフレかやの里の風呂の再開は 廣野 安樹	産業振興策の人材育成の課題を問う 小林 庸夫
厳しい農業情勢の下でどうする 伊藤 幸男	社協の位置づけと今後の助成措置は 糸井 満雄
被災者支援システムの早期導入を 浪江 郁雄	今こそ介護保険料の減免を 野村 生八
否決後のリフレ再開のメドは 谷口 忠弘	総合庁舎への道・無駄の多い3庁舎 井田 義之
丹後ちりめんとエコ繊維の融合は 上山 光正	

9月定例会は13人が質問した

ここが聞きたい

◎ 災害、防災時の対策対応を問う

Ⓐ 防災機関の活動にも限度各区の共助が重要

町長 町や消防など防災機関の活動に限界があり地域の自主防災組織や各区の共助の役割が大変重要。自力避難が困難な方や情報が伝達しにくい障害者の方々には、災害時要援護者避難支援プ

町長 当町の観光振興ビジョン、産業振興ビジョンでも織物と観光は、町の活性化には欠かせない、広域的な取組には積極的に参画する。

問 非常事態時の警戒、防災体制の指揮、指示はここどの様に出すのか。
町長 本部長は町長、副本部長は副町長、本部付は教育長、担当業務による班は、各3庁舎に置き全職員体制で複数の被害が発生、又は予想される時は、消防団、全職員の動員をかける。
問 独居老人、高齢者世帯の安心安全の確保、確認はこの責任で。

問 丹後観光と織物活性は織物と観光の活性化はフアツシヨウウィーク事業の中にヒントが有り丹後広域観光キャンペーン協議会と織物業界とのリンク策が広域行政で話し合えないか。又
問 丹後観光と織物活性は織物と観光の活性化はフアツシヨウウィーク事業の中にヒントが有り丹後広域観光キャンペーン協議会と織物業界とのリンク策が広域行政で話し合えないか。又



多田 正成



急げ災害復旧

Q 集中豪雨等による水害対策

A 町民が安心できるまちづくりに いっそう励む



家城 功



町を守る消防団

問

災害は突然やってくる。特に水害は一瞬に河川等が氾濫し、家屋が浸水したり、時には人的被害もでて大惨事につながることもある。地域や町民と一体となって安心できる体制づくりを。

- ① 9号台風での連絡体制迅速かつ的確にできたか。
- ② 危険箇所把握と整備に向けての推進状況は。
- ③ 災害未然防止のための町としての取り組みは。
- ④ 防災関連の各地区からの要望は最優先すべき。
- ⑤ 被災者への対応（ごみの処理や消毒等）や扱いは万全であるのか。

町長

① 一部、区との連絡体制が十分でなかった。反省を踏まえ一層の体制整備に努める。② 特に危険重要区域は岩屋川と加悦奥川（整備に向けて進行中）。要望活動を強化し安心安全に向け調整を図る。③ 災害復旧や予防的整備の着手、治山砂防堰堤の設置についても要望や整備を進める。④ 即座の解決は難しいが、町民が安心できるまちづくりに一層の努力をする。⑤ 一定の基準はあるが、大規模な災害に見舞われた場合は基準にとらわれず柔軟な対応を行う。ちよっとした配慮も含め対応する。

Q リフレかやの里の風呂の再開は

A 倒木利用などでの再開はむり

問 災害から町民の安心・安全を守るのは、重要な課題である。台風9号による災害は、

倒木、枯れ木が水路をふさぎ、林道や山の崩壊が多く発生した。この枯れ木や倒木を整備することで、災害を最小限にすることができると思う。

これをエネルギーとして5万人〜6万人が利用したりリフレかやの里の風呂の再開は町の活性化にかかすことが出せない施設でもあり、風呂の再

開をすることはできないか。

町長

荒廃の山林は多く、町職員も山のパトロールをしているが、手がつけられない状況。民有地について一部補助率アップし、支援制度の拡充をしたい。燃焼方法等、未知数の課題が多くあり、将来的に研究を進める分野だが、風呂の再開は倒木などでは難しい。

不況の中雇用確保を問 災害を未然に又、最小限となるよう

整備は重要な課題だ。雇用確保の施策と思う。町長 災害の防止や国土の保全、雇用の創出の施策は必要と思う。国の行政課題であると認識している。



廣野 安樹



待たれる活性化

Q 厳しい農業情勢の下でどうする

A 京の豆っこ事業を他にも波及へ



伊藤 幸男

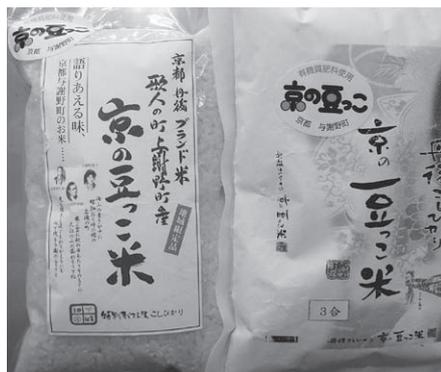
問

長引く不況に加え、米

国発の世界金融危機で、急速に地域経済が重大な事態に直面している。

この間、食の安全を脅かす事件や世界の食糧危機と穀物高騰、地球環境温暖化問題などの重大問題が表面化している。

こうした中、自給率向上が、世界の食糧輸入大国＝日本にとって、国際社会に対する責務となっている。民主党新政権誕生が明確になった今、町の農業を守る立場から、①農地法改正、②米価問題、③WTO問題、④日米FTA問題、⑤町の農業施策などの見解を伺いたい。



おいしい豆っこ米

町長

①企業の無秩序な農業参入

で悪影響を及ぼすとの意見もあるが、地域営農を阻害しない措置もある、②民主党は、戸別所得補償制度を提唱し、生産調整を廃止するとしている、③早期妥結をめざしており、厳しい状況だ、④日本農業とコメは大打撃を受けると言われているが、民主党は「国内農業の振興を損なうことは行かない」と、⑤京の豆っこの取り組みを発展させることで、本町を全国に発信し、他の農産物などにも波及させたい。

Q 被災者支援システムの早期導入を



浪江 郁雄

問

地震や台風などの災害が発生した際

に、被災者を支援する総合的な体制づくりが必要。被災者支援システムは14年前の阪神大震災で被害をうけた西宮市が開発し、災害時の教訓や情報化のノウハウを活かした唯一のシステムで、無償で入手できる。被災時に、被災者の氏名、住所などの基本情報や被害状況、避難先、被災者証明書の発行などを総合的に管理し、救済・復旧復興業務に必要な機能をすべて搭載し、実際の業務での有効性も実証済み。早期導入を。

町長

システムのハード環境を整備するのに85万円かかる。

A 費用や運営について

整理したい



早くワクチンを（新型インフルエンザ）

住民情報システムとの連携方法など整理が必要。

町長

対策本部を設置し、予防啓

新型インフル対策は全国的に感染が広がり、厚生労働省は「誰もが重症化のリスクを持つ」と警戒する。庁舎、学校現場、保育現場での基本的予防策や、流行がおきた際の取り組

みに。発に努めている。各庁舎入り口には消毒剤を常時設置し、来庁者への注意喚起と予防を実践している。

Q 否決後のリフレ再開のメドは

A 検討したい

問 6月議会でも否決になった原因をどう捉えているのか。

町長 ベストの提案だと考えたが、

浴場の問題、福祉施設になるのではといった誤解、行政の説明不足などではなかったかと思う。

は多くかかる。

問 6月に提案された業者の方は今も事業意欲があり、先進地に行かれ研修をされていると聞く。地元の方と運営協議会を作り、地域活性化の一役を担いたいというおられる。又今再開に向けた要望書が届いているが。

問 浴場の再開は多額の運営コストがかかる。結果指定管理料(税金)で賄うことになるかと思うが。

町長 浴場を再開すれば当然経費



谷口 忠弘

町長 今のところ白紙だが、熱意は感じている。

問 早期再開が望まれるが、今後は商圏交通アクセスの変化に対応した経営が必要と思うが。

町長 町民の声を聞いて、検討委員会のようなものを作り検討したい。

雇用維持に行政支援を
問 近隣市と同様に助成金に対し、5分の1の企業支援を行うべきだ。

町長 今回補正予算にあげた。今後も状況を見ながら適切な支援をしたい。



再開のメドは

Q 丹後ちりめんとエコ繊維の融合は

A 人づくりが産地活性化のキーワード



上山 光正

問 基幹産業であった絹織物が、伝統産業へと推移した現状の中で、与謝野町の織物関係に行った支援の内容と成果、白生地増産の鍵はどこか。

また、植物由来の合成繊維(エコ繊維)を使った着物が開発され、絹に近い光沢と洗濯機で洗える繊維、特に耐久性と耐熱性に優れた素材が各分野で注目されている。

伝統技術と最先端素材の融合が実現し、年内に製品化と報道されたこの新素材の提供を受けるルート確保と経産省へ職員派遣も含めた企業振興への取り組みは。



今後の課題エコ繊維

町長 行政は、規模拡大に必要な設備投資を中心とした金融施策を主力に置いている。

バブルの崩壊で、状況が反転、行政も好転に向け、国、府に対する要望活動、安定化の融資施策を進める一方で、新商品の開発、高付加価値化への支援、技術者の養成などの支援を行い、活性化に向けて努力してきた。和装、洋装、インテリア等々、幅広い織物を生産する産地構造となり他産地でない状況、この強みを生かした人づくりと企業振興が産地活性化のキーワードと考える。



勢 籟 毅

野田川を指定河川に

河川の増水や氾濫等に備え、気象庁

でも「よぎ郡」だが、どう上達するか、今しばらく時間をいただき勉強させて欲しい。

町長

伊根町でも町

問

今日まで教わってきた「よぎ郡」が正しいと思ってきたが、国の資料では「よぎ郡」の呼び方になっている。合併協議でも「よぎ郡」と確認されており、上申する必要は。

A 私もよぎ郡と想っている

Q 与謝郡の呼称を上級庁へ



与謝(よぎ)郡誌

野田川は流域面積も狭く、流域延長も短いため氾濫予報が出しにくく、指定河川にすることは難しいと思う。

町長

野田川は流域面積も狭く、

は府県と協議し、予め定めた河川で区域を定め水位・流量を示した洪水予報を行っている。野田川もこの指定河川にする必要はないか。

町長

観光振興ビジョンでは町独自の観光戦略、広域観光への連携の強化が基本になっている。丹後観光の中でも重要な役割を担っている。

観光ビジョンを問う

観光立国は国家的課題であり、観光



畠山 伸枝

Q 規制緩和で保育所はどうなる

A 時代にあった公立保育所をめざす

問

町は責任をもって保育所を作り、安心の保育をしてきたが、規制緩和によって次のようなことが起こっている。

* 短時間保育士導入など保育所の職員配置の緩和

* 保育所への企業算入など。

町の保育所でも、短時間勤務の保育士や正職員と同じ勤務をする保育士を、臨時で雇うなどが行われているのではないかと。

町長

全員を正職員にするのは難しい。朝の数時間や、夕方だけなら手伝いができるという人もある。仕事をわけあうという意味もある。



元気な子どもたち

問

保育の市場化が進んでいるが、今後も時代に即した公立保育所をめざし、保育の内容を充実していく考えに変わりはない。

問

政府は保育園と保護者との直接契約方式の導入など、大きく変える方針を出しているが、こんなことになれば、町としてどうすることができかねないかと。

町長

予測は難しいが、今は、望まれる人はすべて入ることができ、今後、子どもを取り巻く環境が変わっていく中で最善策を考えていきたい。

Q 産業振興策の人材育成の課題を問う

A 企業活性化のための施策であり対応できない



小林 庸夫



育てよう人材を

問 標記の補助事業のなかで事業主・従業員が公的機関での研修参加される場合旅費・受講料の1/2を補助する制度があるが過去の利用実績を問う。

副町長 平成19年、20年度利用なし。

問 対象者は町内事業者となつていますが事業者以外のサラリーマン退職者、女性、青年層など意欲のある方にはどなたでも活用いただき雇用、仕事面での活路を何とかしたいという思いの方へ、側面的に手助けする柔軟な仕組みができないか。

副町長 個々のケースにより対応方法もある。商工会、商工観光課まで相談いただきたい。

問 岩屋峠改修にむけて近隣の三桁国道は改修工事が進捗している。宮津〜養父線も国道昇格活動をし岩屋峠の早急な改修を図るべきだ。土質などから大地震などでは土砂崩れが生じる恐れあり、冬季のスリップ事故も多い。「京の道づくり重点プラン」には「市町村長の意見を反映させています」とあるがより強く要望してもらいたい。

町長 決して引き下がってはいない。岩屋峠改良促進協議会とともに粘り強く要望活動を進める。

Q 社協の位置づけと今後の助成措置は

A 重要な役割と認識しており支援を継続したい



糸井 満雄



会計室も工夫

問 与謝野町社会福祉協議会は、厳しい財政事情を背景に、組織体制や財政運営などの見直しに迫られている。今後の町の対応として、福祉行政の推進にあたり社協の位置づけと、平成22年度以降の財政支援措置をどのように考えているか。

町長 町の福祉行政にこつて大変重要な役割を果たしていること認識しており、今後とも行政として一定の支援を継続していきたいと考えているのか。

えているが、町民の皆さんに補助金の削減などをお願いしてあるところで、平成22年度以降の社協の補助金も、一定の見直しを考えている。

問 リフレの管理運営は6月定例会で示した議会の意思決定(否決)をどのように受け止めて、今後の施設管理、運営を進めようとしているのか。

また、今後の方針は「福祉の町構想」の拠点施設と位置づけているのか。

町長 大変重く受け止めると同時に残念に思っており、現在は白紙の状態である。今後は住民の皆さんに検討いただくための組織を立ち上げ、諮問してみたい。またリフレかやの里は農林施設であり、福祉の町構想の拠点施設としての考えはない。



野村 生八

与謝野町立国保診療所
 【診療科目】 胃腸科・循環器科・小児科・リハビリ科・外科
 ※ 月・木は子育て無料相談も行っています。
 ※ 火・金の午前中は外来リハビリも行っています。
 ※ 火・木・金の午後は訪問リハビリも行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時～正午		○ 谷口医師 小西PT			○ 谷口医師 小西PT	○ 谷口医師
午後 2時～5時	○ 1時～5時 衣笠医師	○ 谷口医師		○ 衣笠医師	○ 谷口医師	○ 谷口医師

与謝野町与謝野町字石川685-1 TEL 42-3601

今後の高齢者対策は

Q 今こそ介護保険料の減免を A 住民負担を見直すときだと思おう

問 自民公明政権が、国民のきびしい審判により民主党政権へと歴史的転換をした。今後新しい政治の方向が模索される。とりわけ、切り捨てられてきた社会保障の再構築が求められる。

自公政権が続いていたらどうなったか。3年後の介護保険の見直しでは、調理などの生活介護は介護保険から外し、ボランティアで行うという議論までもがされていた。社会保障費を削る自公政権にもどしてはならない。このような政権のもと

介護保険料は、低所得者の負担が大きくなっており、生活実態に見合った減免が必要ではないか。

利用料も、医療や介護は保険料を払っているのだから、本来無料にすべきだ。町民誰もが必要な社会保障が受けられるよう、自治体も何が必要かをあらためて考え、国に声を上げていくべきだ。

町長 住民に少しでも負担がかからず、お互いに支え合えるシステムができるよう、一人一人の生活実態に合わせて見直すときだと思おう。少しでも改善できる

よう考える。減免については、具体的な把握をしたうえで対応を考えたい。

Q 総合庁舎への道・無駄の多い3庁舎

A 合併特例債の平成27年を一つの区切りとする



井田 義之

問 新町になって3年6ヶ月、総合庁舎方式は合併後の懸案事項である。協議の経過・今後の進展は。

町長 20年度、職員管理職を中心に“庁舎検討フォーキング・グループ”を設置した。

当初考えていた3庁舎から2庁舎、次に総合庁舎の段階的な移行は、改修やコンピュータシステムなど、無駄な経費が生じるため一挙に総合庁舎移行が望ましいとされた。岩滝・加悦のいずれかの庁舎を増改築する場合、財源は合併特例債が有利であり、特例債の期限・27年度がひとつの区切りとなる。

総合庁舎は役場の体制、機構の見直し、職員の数、経費等の問題もあり、もう一度“フォーキング・グループ”に検討させたい。

問 都市計画と景観条例 岩滝地域は都市計画、加悦地域の一部に景観条例があり、野田川地域は何もない。規制のある地域とない地域で町民の負担に不平等がある。

町長 都市計画法の抜本改正が予定されており、これを待ち慎重に考える。景観条例は町全体をイメージし、引き続き作業を進めたい。



野田川庁舎

まちの宝
子どもページ

山田保育所の紹介

山田保育所は0歳～5歳まで67名の子ども達が通い、大きな銀杏の木がシンボルでもある広い園庭はいつも可愛い笑顔と元気な声で賑やかです。

一年を通して子ども達が大好きな遊びのひとつ「どろ団子」作りはとても根気がいりますが、年長児のピカピカ団子を目標に、小さな手で一生懸命に団子を丸めている姿は微笑ましく、心和む光景です。

園庭の隅には自分達で土を運んで作った小さな畑に種から野菜を育て、その成長をみんなで喜び合いながらクッキングへとつなげています。

昨年の夏にはうさぎの赤ちゃん誕生にみんなで感動しました。そのうさぎも「ひまわり」と名付けられ今ではすっかり山田保育所の一員。毎朝、子ども達が持って来



てくれる餌を待っています。

また、年長児は近くのデイサービスにも月に一度行かせてもらい、一緒にゲーム等を楽しみながら交流を深めています。子どもも保育士もみんなで感動が共感できる活動を…と日々の保育の中で心がけ、子ども達にとって「楽しい保育所」でありたいと思っています。



岩滝の町なみ

（日々、その一日が好ければ、それで結構ではないか）

日々是好日。

この出会いと体験は、一生の財産であり、今後も大切にしたいと思っております。

風光明媚な穏やかな地域と謝野町で、不自由も感じることもなく、安心・安全に暮らせる幸せを、一人でも多くの人に感じてもらえるような町づくりを、議員の皆様方のご尽力に期待しつつ、私の好きな言葉で結びます。

ちょっとひとこと



高岡みち子

「出会いを大切に」

丹後に生まれ育ち、地元で働き、地元の人と結婚、ごくごく平凡な人生を送っておりますが、その平凡な日々が、どれほど幸せなことであるのか……。最近になってありがたいことであると、思えるようになりました。

33年間福祉事業に携わり、たくさんの方々との出会いは、様々な体験や、多くのことを学ば

せていただくことが、できました。

お知らせ

12月定例会の予定

招集日	12月	1日(火)
一般質問	12月	9日(水)
	12月	10日(木)
	12月	11日(金)